

【国津神とは】

- 四十八の神の、子から曾孫までの神々で、男女同数に、性別が分かれています。
- 5 • 四十八の神の、子を親とした場合、親、子、孫、までの神々です。
- 火の系統神も水の系統神も、それぞれ男性と女性の神がいます。
- 人と同じ姿をしていて、人間界に直接降臨した事もあり、肉体を持って地上で活動した
- 10 事もあります。親の代が肉体を持って活動した時には、大きな宗教を興したり、偉大な聖者となって『真理』を説いた事があります。
- 15 • 国津神界から降りてきた人間の特徵は、自分の本体である守護神が靈格を元の神格に引き上げるために、徹底的に鍛えるための仕組みを起こすので、挫折や苦勞の多い自分の思い通りに行かない人生の方が多くありますが、元の神格を取り戻し徳を積んだ時には、今までの苦勞を吹き飛ばす幸福を得ることができます。

20

【現津神とは】

- 国津神の孫の、子供から孫までの神々で、男女同数に、性別が分かれています。
- 25 • 火の系統神も水の系統神も、それぞれ男性と女性の神がいます。
- 人と同じ姿をしていて、人間界に直接降臨した事もあり、肉体を持って地上で活動した事もあります。
- 30 • 各地にある神社や祠などで祀られている神は、殆どが現津神か龍神です。
- 現津神界から降りてきた人間の特徵は、普通の人間より優れた能力や才能を発揮して活躍している方が多いです。
- 35 自分の分身である人間に対して、国津神に比べるとそれほど厳しい鍛えの仕組みを起こさないで、最初の内は誰もが羨むような比較的思い通りの人生を歩むことができます。

40

神の魂を持った方は、『神』に与えられた役目を背負って地上で目的を果たすために、人間界に降りて来ます。

しかし、肉体を持つことによって神界での記憶が無くなるので、成長する過程で芽生えた自我によって、本来の目的を果たすことなく人間としての人生を終える方もいます。実は、『神』に誓った約束を人間界で果たせない神魂の方のほうが多いのです。

45